

國道中記 七篇 一

ル 9

3052



門ル  
號3052  
卷

明治五年鐫

萬國道中記

共立舎藏版

萬國道中記上篇序

宇内の大勢に據り繪觀深慮せんと欲するものは必目以て万國の史鑑を曠視し足以て洋海の濤波を跋渉し欧亞各洲の奇も海外不雄視する所の國々を探訪し政教の得失を窺ひ藝林の盛否を問ふを以て要務とす彼國々不羈控せん



萬國道中記 序

行の状を設け到る所の地勢民俗の美惡を紀し  
土宜物産の多寡を志し其他尚凡百の事物を詳  
載したるは歴々として万里外の地を凡案間の  
物とあすの相あり予故小社友と共小之を譯出  
し子弟の海外を訪ふものた興へ袖珎の指針と  
せしめんとす扱人の外國小遊び彼の情状を窺  
見せんとするもの接踵断ざるの今小於ては是  
或は有用の地誌あきば世小布き公益を為んと  
欲し譯成て之を梓行す

吉田賢輔 識

凡例

一書中合衆國の邦内の事小於て甚だ詳らかり  
且更に尚カリホルニヤの部内の事に最も詳  
あかきば皆之を畧して其要のみを譯す可し  
と思ひしが尚再思するに合衆國は隣國を以て  
往來する所の船も極て多ければ此國を探訪  
する者實小多し且又人の最も多く到る処は  
カリホルニヤ部内の地あきば之を詳譯する

も自然其用なき小あらば因て之を畧せばして一々譯出したる

一 譯書中右に單柱あるは人名あり右小双柱あるは地名あり然して左に双柱あるは他の事物の原語のありあるものあり

一 此一巻は亞国中の合衆国部内にある邦々を載せ二巻は同邦并亞中の他の国々を載す

一 改羅巴亞細亞の事を知らんと欲するものは下篇を見よ

目録

- 一 カリホルニアの部中
  - サンフランシスコ。サクラメント。ストックトン。マリノ。ソノマ。ナパ。ソラノ。コントラコス。タアラメタ。サンタクラ。サンタクルス。サンマテオ。
- 一 子ワダ
- 一 コロラド
- 一 アリソナ
- 一 カリホルニヤ
- 一 ユーター
- 一 ウメキシコ

- 一 オルゴン
- 一 アイダホ
- 一 アラスカ
- 一 ニウハンプシール
- 一 マサチュセツ
- 一 コン子チコット
- 一 ニウゼルシイ
- 一 デラワル
- 一 コロンビヤ
- 一 ワシントン
- 一 モンターナ
- 一 メーシ
- 一 ウォルモント
- 一 ロードアイランド
- 一 ニウヨルク
- 一 ペンシルウニヤ
- 一 マリランド

万国道中記上篇上

源藤時一郎 吉田賢輔 譯述

サンフランシスコ 曼リヤリサンマのオマデは  
 予は今サンフランシスコを 探訪し 入り因て細  
 うふ此地の形勢を尽さんと欲し。出れがた免馬  
 ふ策うちローン山 の上 上りし。西を望めば大洋  
 を見渡し。北を望めば金門を眺免。東を望めば海

湾を見。且つ其湾の端において府を見得。より板  
 府の漸々盛大に赴く。おとろは。予中央の丘の上  
 りて。カリホルニヤホールサクラメントメーゾ  
 ン街を以て區畫し。廣衢を見渡し。此  
 一ル街より東方に當り。府の最古の地を見下せ  
 小。此は数多の市店の立列あり。又サクラメ  
 ント街より北方に當り。北濱の地方を見下せ  
 ぐ。此の近辺には。家屋あり。且遠く離れては金  
 門より往來する所の船舶あり。又カリホルニヤ

街より南方に當り。ニシヨンの地方を見下せし  
 此處は府中の盛大なる部分にて。是は小なるニ  
 シヨンの湾に向てあるあり。叔是よりサンフランシ  
 スコの貿易商賣を見んた。免波戸場を尋ねし  
 ぐ。貨物旅客を載せし。大なる蒸気船の。パナ  
 マーにて出帆せるあり。又小麦を積り。紐育に送  
 らんとせし船あり。又銅を積り。英國に送り。水銀  
 を積り。支那に送り。此は又外國  
 の旗章を建てし。数多の船舶の碇泊せるあり

此船舶を見れば種々の製品并熱帯内の産物を  
 持越せり。サンフランシスコの製品も甚く重要  
 のりありて。則ち鉄を製するの音并粉を製する  
 の響きを聞キ又弾丸を製する處。貨幣を鑄る處。  
 金銀を煉する處。砂糖を製する處。高樓と烟突  
 とを見り。此府の人民は数多ありて且才能あ  
 り。予此處を遊行する間。諸色の人種と逢ひ  
 たり。殆んど世界中の人民を閱歴し。此處の貴  
 き学校を窺へば。日曜日と日曜日との間。生徒

の群集せるあり。寺院もあつたは。土曜日日曜日  
 二當り。人民の群集せるあり。サクラメント  
 予は是より蒸氣船に乗りてサンフランシスコ  
 よりサン・フアブロ湾カルキト子ズ峽スコトス  
 湾并小サクラメント河を経過して。サクラメン  
 ト府に着船せり。抑も此はカリホルニアの首府  
 あり。先考一々新しき政事堂を尋ねたり。一  
 が堂の造営は最も美しくして。花剛石の建物あり

此は河水の患あきやうは府を保護せんがたを  
 堤築しうる長大の堤あり。予は此堤に傍て快然  
 たり騎行をなしたり正しく府の前面よか  
 サクラメントの貿易商賣の光景を見たり。小船  
 の穀物木材を積みて河の上流より到着するあ  
 り。蒸氣諸船の。木材花剛石并に諸物品を載せて  
 海灣に向ひ去るあり。車の山手并にマリスマイル  
 より旅客を送り来るあり。叔郊郭を騎りゆけば  
 花果は富なる園庭あり。普しく此府を徘徊せし

小市中は商法のたを熱開せし樹蔭の街衢を  
 庇ひうるは快爽ありとあり

ストックトン

予は是よりジョークン中のストックトンさいて車  
 より行き旅館に宿りしが。サンフランシスコよ  
 り来る旅客を載せ。山地の如くへ出立せる馬車  
 を見たり。又桶箱の類を荷ひたる荷車を引きた  
 る馬并駟馬の。又山地に向ひ出立せるを見たり。  
 又ビグトリートヨセマイトホールを探らんたを



此府より馬車より出立せし。仲間を見たり。予又  
此よりてんきょう熱狂院を尋ねたり。又路上より多く花を  
見。樹蔭かげの憩やすみひきは。予はおおて快よきまとなり

マリソ

サンフランシスコよりマリソのサンラフェル  
で船渡りて赴きしが。予の上陸し。近所より  
カリホルニアの囚獄ちゆうごくの建物を見たり。サンラ  
ルより海岸まで車より往きし。通路をおお  
タマルペーストと名なけたる高山の麓は近き処

を乗り過ぎ又清らうたる流に近き処を過ぎし。  
此流は傍て紙火薬の製造所あり。海岸に到り  
見きば小山の青くあり。此は牝牛の数多  
を救へり。出で行く船は。牛酪、乾酪を搬たび去り。  
叔是より予はサンラフェルに戻りたり

ソノマ

サンラフェルよりソノマ中のペタルーマまで騎  
行せし。此より穀物の充ちたる納屋を見たり。  
且サンフランシスコにして産物家畜を送りた

免の船を見う。予は是より北に向ひサントロ  
ーロまで。馬上より往きし。此は此州の政事  
堂あり。是より尚馬上よりヘルツボルグまで往  
きし。畠はたけよかぬく長たかく且美ある珠とうもろこし米を  
見う。ヘルズボルグの近辺にてゼイセルスを  
尋ねより。是は温泉なり。故予は温泉を尋てより  
サントローサニ戻りより

十パ

サントローサより。予は十パ中の十パまで騎行

セーグ。此所は甚だ狭き谷地なり。然れども穀物  
の盈みちより田をが并小果園を見う。是より予はホ  
ワイトソルフアルスプリングを探り。此は  
病弱の人多く来集きあつり。又カリストガ泉は遊  
び仲間多く来り集あつり。ツィダスプリングは  
開いんかきくツィダ水を掘り入を運たまび出さんとする  
人あり

ソラノ

予は十パよりソラノ中のワルレジョーまで馬上

きて往きしが人を載せサクラメントに赴く所  
 の車を見し。是より輕舟こゝろねにてマール鳴まで漕こ  
 が往きし。此所は合衆國の海軍舟泊所にて。軍  
 艦より飄ひたる所の星旗を見し。是よりベニシヤ  
 まで馬上より赴きし。此所より邦内の諸部よ  
 り聚り來きし少年の友は逢へり。蓋し此友人は  
 善き学校を求めん為を來りしものなり。此中の  
 一人予を誘ひて。合衆國の武器庫まで連行せり。  
 此より政府に属する所の銃砲の大なる数を見

たり

コントラコスタ

予はペニシアよりマルチー子まで船渡りて  
 赴きし。此よりはコントラコスタ縣の政堂あり。  
 尚馬は策うち石炭坑を探りし。荷車の石炭を  
 載せ舟に積込つみこむとて去るものあり。尚又馬は  
 て案内者と共ニデアブロ山の頂上より上りし。此  
 山の頂上より北は向てサクラメントを見。東  
 は向てストックトンを望み。西は向てサンフラン

シスコを眺めたり。其高き處と想ひ見ればし  
アラメダ

予はデアブロ山よりオークランドに車行せしが此市街に入りて見れば陰々たる桎梏并花園の美あるよ心を怡ばせり。又市街の近辺に菜園と菓園とあり。是は野菜と菓物とをサンフランシスコへ賣出さんたをあり。朝はおゐては。其日の商業を為さんため。サンフランシスコへ往かんとして群集せる人の渡船を求むるを見たり。

此は学校の美ある建物あり。童男童女の来り学ぶ所あり

サンタクララ

今驛車予を載せてサンタクララ中のサンジョセ川に送りしが。此所とサンタクララ所との間にある馬車道の。大樹をもつと蔽ひたるを望む。学校の友は逢ひしが。大小学校の快情を予は示せり。實は学校の日は繁榮に赴けるを見たり。是より海岸の方へ赴きしが。童男予を導びきて。

鑛山の水銀を取る所へ連<sup>つ</sup>き行きたり此所の名  
をニウアルメダンと云ふ。サンタクルラ并サン  
ヂョセーの周辺<sup>は</sup>善<sup>よ</sup>く菓物と穀物との植<sup>う</sup>つけ  
あり

サンタクルズ

サンジョセーよりサンタクルズまで山を越へて  
心地よく馬<sup>は</sup>策<sup>ちやう</sup>てり。此所<sup>も</sup>予多くの友<sup>は</sup>逢  
ひ<sup>が</sup>。何<sup>も</sup>も休息<sup>やすみ</sup>娛樂<sup>たのみ</sup>のた<sup>が</sup>。サンフランシス  
コ及び其他の所より来<sup>り</sup>人あり。叔<sup>は</sup>此友<sup>は</sup>此

く<sup>て</sup>漁<sup>り</sup>獵<sup>り</sup>を<sup>お</sup>すあり。海水浴<sup>を</sup>おすあり。海岸<sup>に</sup>  
馬<sup>を</sup>馳<sup>す</sup>るあり皆各其心思<sup>を</sup>樂<sup>む</sup>る。此<sup>も</sup>て菓  
紙<sup>の</sup>製<sup>造</sup>所<sup>を</sup>見たり。又遠く離<sup>れ</sup>て火薬<sup>を</sup>製<sup>す</sup>  
る車<sup>仕</sup>掛<sup>を</sup>望<sup>み</sup>得<sup>たり</sup>。又樹林<sup>の</sup>内<sup>を</sup>見<sup>ま</sup>す。材  
木<sup>を</sup>伐<sup>り</sup>出<sup>す</sup>人あり。又石坑<sup>の</sup>近<sup>辺</sup>は石灰<sup>を</sup>  
焼<sup>く</sup>人あり

サンマテオ

サンタクルズよりサンマテオまで海岸<sup>に</sup>傍<sup>そ</sup>て  
騎<sup>行</sup>し。レッデウードンチー<sup>り</sup>て止<sup>ま</sup>り。此<sup>も</sup>

て政堂を見れば、此所は府あると明らあり。此  
より車の行くを見るに、此車は予をサンフラン  
シスコへ送る所のものならん、故に此所の田園は  
甚だ美あり、家屋も亦佳あり。是より車行せしが、  
同車の中は多くの人あり、是は商業の大府中  
に赴く人あり。

右は何れもカリホルニア中の縣あり

嘉理符尼亞記者云邦名を題するに必漢字を用はる人を  
て搜索し便しせんとするのみにて他意有ら非ず

予はサンフランシスコより上陸したり、故に此所  
はカリホルニアの重要なる府あるのみならん、  
尚又太平洋の海岸の貿易の中心といふべき地  
あり。是より予は此サンフランシスコにおて  
蒸気船に乗り、カリホルニア邦の都府あるサク  
ラメントに赴けり。此より又蒸気船に乗り、フレ  
ゾル河の入口まで派せり。是よりフレゾル河を  
上りて、カリホルニアの北部あるマリレイルに  
到り。是より再びフレゾル河の入口に帰り、サ

クラメントまで舟行せり。遠く東の方を望むべ  
 雪を冠<sup>うむり</sup>する山あり。是はシエララ子ワダ山脉  
 あり。此山脉の内ふ。カリホルニヤの金坑<sup>かみやま</sup>あり。此  
 て黄金を掘出すあり。遠く西の方を見まは、左程<sup>さほど</sup>  
 高<sup>たか</sup>うらざら山あり。是はコースト山脉あり。此サ  
 クラメントには。牝牛数多あり。此牛乳よりして  
 牛酪<sup>きゅうらく</sup>製せり。叔予はサクラメント河を下  
 りてサクラメント府に到り。是より車もてスト  
 クトンは着せり。此よりサンジョーキー河に到

り。河上は長きが間帆<sup>あひだ</sup>うけ走せり。サンジョーキー  
 川の近所は。廣き平原あり。平原を外<sup>とほ</sup>進ては高  
 き山あり。又是より。東方に向ひシエラ子ワダ  
 山脉の内ふ大樹あり。此樹林の中ふ。或は世界第  
 一の大樹あり。此もあるヨセミツト瀑は高く且  
 美あるものあり。西方は低きコースト山脉あ  
 り。此は石炭の沢山<sup>ろくえ</sup>を掘り。水銀の沢山を出せ  
 り。是より予はサンフランシスコに帰る。舟行  
 せり。路中<sup>ろちゆう</sup>休泊<sup>きゅうはく</sup>せしモンテレーは。最も古き市街<sup>いちがわ</sup>

て其近辺を見れば鯨捕するものあり。鯨油を採  
るものあり。叔予は舟行し海岸より下りて上陸し。  
ロース、アングレーズ迄騎行せり。此より橙樹の  
林あり。胡桃の林あり。并に葡萄畑あるを見り。  
此より橙の籃あぶらを持出すあり。胡桃の囊うらちを携出す  
あり。酒樽さかづきを運出すあり。皆蒸気船に積込んと  
するあり。勿論もちろん此所の季候は暖あたたかあり。蓋し橙は暖  
りあり。ぎれば生長せざるものあり。是より予は  
サンフランシスコに帰りあり。

尼哇達

予はセントラル、ペシフィックの鉄道に於てカリホ  
ルニアのサクラメントを出立せり。此鉄道に  
てシエララ子ワダ山脉の頂上は運はきばきあり。此  
より馬を得。ターホ湖は騎行せり。此湖は水深く  
且美景あり。て魚は沢山あり。此湖の地位は。半は  
子ワダに属し。半はカリホルニアに属せり。是より  
尚馬より子ワダ邦の都府あるカルソンに到  
り。是より車より大且富多。ウォルジニヤ府に



到まり。ウォルジニヤまで。予は世界中より一廣  
 大なる銀坑を探りし。が。鑛穴と稱す所の深  
 き井中より降り。隧道と稱す所の通路を過ぎし。此  
 ころ岩石を掘出し。地面の上より運ぶ人を見し。  
 此石を碎き焼くときは。銀其中より迸出する  
 あり。叔子ワダの地図より見し。ウォルジニヤ府  
 の北に當るホンボルド河の近辺に。ホンボルド  
 と稱す所の他の銀坑ある地方を見し。又ウォル  
 ジニヤ府の南に當りし。ウォルクル河の近辺に

も鑛山あり。叔予は是よりウォルジニヤ府の東方  
 のリス河は行きしが。又銀坑を認めし。

武連

予はユーターの都府ある大鹽湖府より馬上  
 て行きしが。此にては人民モルモニスムと稱す  
 る新たある宗旨を信向せり。此宗旨にては一夫  
 多婦を娶るを許せり。是はボレガミ一多婦を娶  
 と稱する所のあり。鹽湖府は美し。且大  
 あり。府中の街衢は。樹林をより蔽ひ。其家々は園

庭をもて取囲えり。東方を望えば、諸山皓くして  
て雪を戴けり。乃ち此方に向ひ馬上もて赴き  
が。溪水涿々として下り流す。其流すは粉を製  
する車仕掛あり。羅紗を織る車仕掛あり。木を鋸  
ぎる車仕掛あり。アトランチック諸邦よりカリホ  
ルニヤオルゴンへの移住人の。此を車もて過ぐ  
るあり。此移住人は大鹽湖府に止りて、菓實野菜  
并に獸肉を買求えり。此はシヨルタン河の流  
せありて、府中を流せり。予は此河水を隨て、河

口まで騎行せり。即ち此河水は府の名の因て生  
ずる所の大鹽湖に流注げり。予此湖水を浴せし  
が。容易に身体の浮き得るほど重き鹽水あり。江  
一ターの他の部分は、農民と牧者によりて佔ら  
せあり。又ユ一ターの或る部分には、鑛山を開  
きたり。

哥羅拉渡

予はコロラドの都府なるデレワル府に騎行せ  
り。此邦人民の職とする所の重なるものは子

ワダの如く鑛山を掘るあり。デンワルにて  
鑛夫ウヰウヰは出逢イデひし。是は掘りたる黄金を賣て。必  
用の物を買ひ求あり。是より諸山の内へ行き  
鑛業の場所を探り。其業を為す人を見たり。諸山  
を徘徊ハヒヒすの間。高原の草繁コハき所トコロに到り。其所  
は圃ウラと名けらる。此よりプラット河の水源を見  
り。予は再びデレワルデレワルに戻り。バイクス嶺バイクスより旅  
行せし。此山は至マて峻急ツルギあり。扱サツ此邦より。最初  
に見出ミデる金鑛は。此山の近処あり。予のコロラ

ドドに旅するや。此山より東西ウシホへは往かざりし。其  
訳は東西の地方は。只荒涼ウラシなる原野と。野蠻イデキの印  
土人のみあきばあり。

柳墨是科  
ニウメキシコ

予はニウメキシコの都府あり。サンタフェサンタフェにて  
長き旅路を往きあり。合衆国中より。此部はメキ  
シコと界を接せり。昔はメキシコの国内あり  
り。故に路上より黒色のメキシコ人を見。其人  
のメキシコ語を語るを聞きあり。一村を訪ひ

が。此より印土人の佳居あり。其人甚く温和し  
て且伶俐あり。係し此より西の地は居る印土人  
も。此より東の地は居る印土人は。極悪の種族あ  
り。是より予はメーシール府まで。リオクランド  
の谷地を。馬をて下りし。岡峦の上は畜類の群  
が。を見。谷地の中は穀禾の波の如く動くを看  
る。予は尚又銀鑛を尋ね得る。因てニウメキ  
シコの商業職業の重なるのは如何をば考へ  
得たり。

爾理瑣那  
アリゾナ

予はラパスまで。コロラド河を帆りけ上る。此  
より今大なる鑛山の国あるアリゾナを目撃せ  
り。叔予の見る所は。多くは銀銅の鑛あり。予の乗  
りたる蒸気小船は。ユータモンタナを送る荷  
物あり。地圖よりれば。此荷物はコロラト河を流  
る。夫より運車まで。北方まで送るあらん。是より  
陸路まで旅行し。プレスコットに到りし。此より  
樹林繁茂し。人の木を伐り出す音あり。谷地を見

まば。よく耕<sup>たが</sup>してありたり。是よりツークソンま  
で旅行せしぐ。路上みて。温和ある印土人の住居  
せる所を過<sup>す</sup>ぎたり。アリソナ中の他の印土人は。  
猛悪あり野<sup>い</sup>蛮<sup>てま</sup>ありよし。ツークソンの近辺には。  
昔の建物の廢墟<sup>はいきよ</sup>あり。是はメキシコ人の曾て領  
せし處のものあり。

類里恩

予はコロンビヤ河を<sup>すま</sup>流<sup>る</sup>り。ウイルラメットに到<sup>いた</sup>り。夫<sup>それ</sup>  
よりウイルラメット河を上<sup>あ</sup>り。ポルトランドに達<sup>いた</sup>し

より。此所はオルゴレの都府あるのみあり。即<sup>すなは</sup>  
ち太平洋の北郊の貿易場あり。又此<sup>ち</sup>より注<sup>つ</sup>申<sup>し</sup>  
嶺<sup>りや</sup>アイダホモンタナの諸地へ往来する旅人を  
見<sup>み</sup>たり。又此<sup>ち</sup>よりある為<sup>か</sup>督<sup>か</sup>所<sup>しよ</sup>みて。諸礦より持来<sup>も</sup>き  
る<sup>ら</sup>鑛<sup>いん</sup>金<sup>ごん</sup>を見たり。ポルトランドの近所には。廣<sup>ひろ</sup>き  
菓園<sup>くわん</sup>あり。其園より林檎<sup>りんご</sup>数千函をカリホルニヤ  
に運送せり。是より予はウイルラメット河の上流ま  
で旅行せしぐ。此流に仕掛ある車<sup>くるま</sup>にて羅紗<sup>らさ</sup>を織<sup>お</sup>  
るあり。木材を鋸<sup>のこ</sup>ぎりあり。是より都府あり。セ

レルは到り止りし。此より大平洋濱の学校の  
 一あり。ウイラメットの大学校を見り。尚ウイ  
 ト河を上りし。平原ありて。小麦并  
 其他の穀物繁盛せり。此河を去りてより。ジャクソ  
 ンウイラまで田畑を過て車行せり。ジャクソンウイ  
 らは礦物の盛るる市街あり。再びコロンビヤ河  
 を流り。ポルトランドは戻りし。途中より再び  
 舟を出て車行せり。是は急流を避りた。東  
 東方ルゴンの部分は。大抵荒はれたる地あり。金

を尋る人の往来すのみあり。

注申領

方ルゴンのポルトランドより。ワシントン  
 の都府あり。オリムピヤまで。車りて陸路を往きし。ガ  
 コロンビヤ河の近辺を過りし。鮭魚を漁  
 し之を鹽漬するた。是よりコロンビヤ河を離れ谷間を經過せし。小  
 景致の美なるを見り。且此辺の農家を見るに。  
 日盛んふ趣むけり。オリムピヤは有名

ありはボジートソウンドの水あり。此水は海の  
 支流<sup>しは</sup>なり。其景色画<sup>けき</sup>の如く。其水甚ど深し。予此  
 水を帆<sup>ふね</sup>かけ下りて。海口<sup>うきぐち</sup>に到り。港<sup>みなと</sup>に止りしが。木  
 を鋸<sup>のこぎ</sup>ぎの車仕掛あり。且材木を積込て遠方へ送  
 らんとす。船あり。又此辺<sup>このへ</sup>には船を製造する所  
 あり。予は是より海口<sup>うきぐち</sup>の東寄<sup>ひがしより</sup>りて。上陸<sup>あが</sup>し。噴火山<sup>ふんくわんざん</sup>  
 と思へる山の方へ。馬<sup>うま</sup>を信<sup>まこと</sup>せて行きし。路上<sup>みち</sup>に  
 て重要<sup>じゅうよう</sup>なる石炭坑<sup>せきたんこう</sup>を過<sup>す</sup>ぎたり。此辺<sup>このへ</sup>にマリ  
 ハムといふ海灣<sup>うらぐみ</sup>ありて。船の石炭を積むものあり。

是はサンフランシスコより出帆せんとす。  
 そのあり。ワシントン<sup>ワシントン</sup>の東方は。オルゴン<sup>オルゴン</sup>の東方  
 の如く。荒涼<sup>あうりょう</sup>たる地あり。此東方<sup>このひがし</sup>に居る坑夫<sup>かぬり</sup>は。コ  
 ロンビヤ河<sup>コロンビヤ</sup>の支流<sup>しは</sup>なり。金を搜索<sup>そうさく</sup>せり。  
 アイダホ<sup>アイダホ</sup>

ホルトランドよりエマチルラまで。コロンビヤ  
 河を流りて舟行し。是よりアイダホへ往く車<sup>くるま</sup>に  
 乗<sup>のり</sup>り。坑夫<sup>かぬり</sup>商人<sup>かんと</sup>のアイダホへ赴くものと同車<sup>どうくるま</sup>し。  
 スキーキ河<sup>スキーキ</sup>まで陸行<sup>りくぎやう</sup>し。此河<sup>このが</sup>を過<sup>す</sup>てアイダホ<sup>アイダホ</sup>

入り。是より都府ありボイスは進みしが。此は  
辛苦して農事を勉むるもの多く。穀物野菜を作  
り坑業の場は出せり。故に隴畝の青くとしり  
あり。扱ボイスの都府はボイス河の辺にあり。此  
にてアイダホの人民の生業を見るに。坑業を至  
としり。大と知るべし。或る場所を往くとき。坑  
夫の泥土を洗ふを見。且又坑夫の岩石を砕く  
を見り。何れも其骨折想ひやるべし。河岸にお  
るは。又金の鑛棹を目撃せり。扱アイダホ中の

他処の人民の様子を伺ふ。金は至重の産物  
て。農事と牧畜は坑夫に給與せんがた免は為さ  
るゝものあり。扱予は又車にてホルトランドに  
戻り。

滿的納

予はホルトランドよりウオルラ、ウオルラ  
の近辺まで。コロンビヤ河を流りて舟行し。夫よ  
り河を離れて車行し。カラーク河まで北東の方  
に旅行し。此河畔に随て。ビットルルート河に到り。



此河小傍て進行し。ヘルケート河小赴き。夫より  
 ロッキー山まで進行し。此ヘルケート河はモ  
 ンターナの内小あり。モンターナ中まで此河紐  
 は住民殊小少あり。折ふし出會ふのは農夫  
 あり。此辺の印土人は温和あり。叔ロッキー山を越て  
 ヘルイナまで進行し。夫よりウイルジニヤ府に赴  
 き。此モンターナの人民を伺ふ。夫ある生  
 業は坑事あり。抑も此地方小注ぐ所の河流を注  
 視せよ。夫ある三スローリの水源は。此河流あり。

モンターナより東小當り遠隔の地は。猛悪あり  
 印土人の領する所あり。

亞拉士格

予はサンフランシスコより。アラスカの都府  
 小シツタカまで舟行せり。叔此邦を訪ふより舟を注  
 思すべきは。魯西亞より合衆國小此邦を賣り渡  
 し。このあとあり。土人はエスキモックス人種と印  
 度人の雜りあり。魯國の商人の此小ある所のは。  
 俗例且懇懃あり。此小港あり。即ち此小ある船を

見了氷を積てサンフランシスコに送んたり  
るものあり。此邦の内地并島々にかゝる。庫を見  
るに。狩人よりて集められし毛皮あり。此邦  
の重立たる物産は。氷と毛皮あり。あし知すべき  
あり。

予は東方諸邦を巡行んがた。免地圖を閲し。其邦  
の名を見了。緬牛舎布什爾、花滿的、馬洩朱些斯、  
洛哀倫、于捏底格、あり。此諸邦を名けて東方諸邦  
と呼び。又新英倫と呼べり。

緬

予はメーソンの内の重要あり。府に達せり。此府を  
ポルトランドといふ。此は勝る港ありて。船  
船叢泊せり。ポルトランドよりケンビク河のべ  
ースまで車より行きしが。此は造船場あり。即  
ちメーソンの重立たる職業あり。是より馬に乗  
りてオーグスタまで行き。此より遊人同伴ひ  
ースベット湖に赴きしり。此湖は新英倫中の第一  
の大湖あり。湖水より予が漁獵せしは。あまふ一

快事あり。湖よりしてペノブスコット河を渉ると  
き森々たる松樹を見たり。此樹の名高きありとよ  
りして。メーン邦の一名を松樹邦と呼べり。是よ  
りペノブスコットを下り。バンゴル小達せしが。此  
道筋より筏の浮ぶを見たり。是はバンゴル小到  
り之を解きて。材木おちきあり。板バンゴル  
より運び出す材木の数は。実お莫大あるものお  
り。是より予は蒸気船より。ポルトランド小戻り  
たり。

牛舎布什爾

ポルトランドよりして。予はニウハンプシール  
中のポルスモースまで南方小騎行せしが。此ポ  
ルスモースは。此邦の海港あり。是よりメリマック  
のマルチュール小達みし。此はニウハンプシ  
ール中の第一の府あり。此より木綿製造の車仕  
掛を見たり。実お重立たる製造所といふべし。マ  
ンチューストルより。此邦の都府あるコンコルトま  
で旅行せし。花剛石より建立したる政堂を見

より此邦は旧花剛石邦と呼ばるしほど。此石は  
付て名高し。此都府は馬車の製造も名だのし  
是より予はウイニペソーギー湖まで乗馬して  
行きしが。新美倫中のオ一の景勝ある湖まであ  
りより。予は蒸気小船まで湖水を渉り。夫より白  
山まで馬二策ちし。此山は遊人の群集せらる  
あり。

花満的

予は白山より

モントピリール

まで進行しが。此

はウォルモントの都府まで近きみ青山あり。ウォル  
モントの名も青山といふあり。佛蘭西語あ  
り。是より予は此邦中オ一の大なる府あるボル  
リントンまで騎行せり。此みはシヤンプレーン  
湖<sup>あり</sup>有て船舶来り集り。ボルリントンとカナダと  
の貿易をなせり。ボルリントンよりミットルボリ  
ンまで南方へ騎行せり。是は大理石の出る所を  
見んた也あり。ミットルボリンより南方へ旅行し。  
ベニントンみ到りよりしが。路上みて見し野の

小山の内小教多の牛羊を認免より。是は牝牛より牛酪乳酪を得。羊より絨毛を得て重立。この商業をかせばあり。谷間には柴へこの穀田ありて。此地の人民農業を要務とせり。ベニントンより目を注すべきは。革命の乱のとき。青山男児も名けられこのウオルモント人の英軍を打ち敗りし戦場あり。

馬渡朱些斯

ニウハンプシールより南をさして。マサチユセツ

の春野小旅し。名高きベーステート小到りし。新英倫中の最も人民多き所あり。春野には合衆

國兵士のたえ小製しこの銃砲をいせ置く所の武庫あり。春野より東小當りウーストルといふ

処あり。此より馳来り見るに。各地小分派する鉄路あり。此邦の鉄路は。他処と較ぶれば殊小長し。

ウーストルを出立し。名高き此邦の都府あり。ボ

ストンへ進行し。政堂の上より見渡せば。最も勝る港の内小。帆檣林立してあり。

此は書庫の最も華煥（カワラカシ）ありあり。其近辺は合衆國中最古のハルワルド（ハリワルド）校あり。此地はあつて。亞國（アムリカ）の雅典（エッセイ）と称せられり。是より予はローク（ローク）エルまで北に進（ノル）えり。此は紡織の音（オト）断（トギ）に耳（ミミ）入り。実合衆國中の重立（オモダテ）ちる。木綿物を仕出す処ありを知る。又予はボストンへ戻り。ニウヘルトホルドまで南進（ナンシン）せしが。此はあつ港。鯨獵船（クジラモノリ）叢泊（ソウボク）せり。マサチューセツツにて漁獵（イサモノリ）の盛ありは。合衆

国中の第一あり。

洛哀倫

予はマサチューセツツより。ロードアイランドのプロウイデンスへ赴（モトメ）きしが。此邦は合衆國の最も小なる地あり。然まども頗（オソ）る重要あり邦あり。プロウイデンスは。大にして且繁昌（ウツクシ）あり。府あり。府の近辺は木綿を製する車（クルマ）仕掛（カケ）数多あり。則ち此製造は勝（カチ）てこの邦ありと知るべし。予は是よりニウポルトへ舟行せしが。身は鳴（ナ）あり。叔（オヤジ）全国

の名をロードアイランドと呼ぶは。此嶋の名よりして然るあり。ニウポルト不あるて。病弱の人。并遊人の多数を見たり。此人々は。爽快なる海水浴をたさんち免来りしものあり。

干捏底格  
コン子チコツト

予はロードアイランドより。ロングアイランドソウンドへおける。新倫敦まで舟行し。即ち身は既きニコン子チコツトの内うちにあり。叔おや此新倫敦は好き港あり。港内不ある。船は多くは鯨獵のた

免用意し。是よりニウヘウニューヘウに騎行せしが。市街は榆樹の蔭かげに掩おほえられ。最も爽快こころよくあるを覺ふ。此より予はエール校を訪ひしが。実不合衆国中より。旧く且善を尽つせる学校あり。此ニウヘウニューヘウは。時辰表の製作せいさく不付て名高し。時辰表の製作所を尋ねんとて。徘徊徘徊せる間不。短銃、鈕子、縫具等を見當りし不。皆精品あり。ニウヘウニューヘウを出立し。ハルトホルドへ進みしが。此所より誇ほめるべきものは。啞おど聾ろう盲もうの不幸人を教育するもの届あり

予は今中央諸邦の図を閲して。紐約、鳥礁爾些、  
西威業、特拉華、瑪理蘭の名を見たり。  
ウエニヤ、テラワール、マリランド

紐約

予はニウヨルク府に赴きしが。此は合衆國中よ  
て最も大なる府あり。此はトリニチとツム礼拝  
堂の塔あり。合衆國中にて最も高きものあり。此  
塔に登りて見れば。ニウヨルクの好き港。歴々と  
して目子に在りたり。ホドソン河は。西にあり。東河  
は。東にありて。府中を過ぎ流き。多数の舟の往来

す。あり。府の地勢は狭くして長し。是より予は  
ブライトウェーに赴きしが。世界中にて最大最美  
ある公樂園を見たり。之をセントラルパークと  
いふ。是よりニウヨルク邦の都府あり。オルバニ  
イアまでホドソン河を上り。オルバニイアよりサル  
アトガまで車行せり。サルアトガより西に向ひ  
シラックに騎行せり。此近辺にて。鹽泉より鹽を  
取り。之を製する所を見たり。是よりナイアガラ  
瀑を訪ひ。乃ち世界中にて第一の瀑布を見たり。



次ハボフハローを尋ねしガ。此ハエリー湖の  
好き港ありて。船舶そらふね叢泊あつてぶせり。是これ多くは穀物を積つ  
みし船ふね多ク。オルバニーオランダ運てんぶ所ところのあり。是  
よりよりアルバニーオランダ小こ尻しり。ホドソン河ホドソン不不随ずいて。ニウ  
ヨルクニューヨーク不不赴しゆききより。扱あつか今いま一いちウヨルクウヨルクの盛せい大だいあり。  
あをを語らば。合衆國中あいつしゅうちゆう不不て。人口じんぐう最さいも多おほく。且かつ最さい  
富とみち白しろ邦くにありといふべし。

鳥ニウゼ遮ル爾シ些

ニウヨルクより。ニウアルクニウアルクまで車行し。ニウゼ

といふ学校あり。孤兒を教育す。河あり。医師あ  
りて予を誘まひ。医学校いがく不不到たうりし。是これは実じつ小こ有名  
ある学校あり。此より西にし不不當たうり。此邦の都府あり  
ハリスポルグあり。此こは清きよき流ながきありて。其名  
をソスケハンナといふ。尚なほ更さら不不西にしの方かた不不は。ピット  
スポルグといふ河あり。山間やま不不光くわう輝きを發はつするを  
見みら。是は鉄を鑄とす所ところあり。考かんる不不ペンシルペンシルを  
ニヤは。合衆國中あいつしゅうちゆう才さい一の鉄を産す。地あり。石炭  
を載のす。車くるまの往來おうらい繁ひげきを見。此邦は亦石炭産た不

名高き地あるの話を思出せり。又ピットスボルグ  
にて。製造所より捲き揚る烟を見し。是は玻璃  
器と鉄器とを製するあり。又黒烟の悠揚するを  
見し。是はオハイヨ河を駛する蒸気船の烟を  
り。ピットスボルグより北の方には。石炭油の盛ん  
ふ出る地方あり。予は此地方を騎行して。フレド  
ルフィヤ小侯より。叔ペンシルウエニヤは。人口夥  
しく。且重要なる邦にして。ニウヨルクと競ふは  
どあり。

特拉華

デラワール

予はフレドルフィヤより。デラワール邦のウイルミン  
トン小行し。合衆国中の最小なる邦あり。ウイ  
ミントン近所にては。柳樹を以て。田畝を界せり。  
是は柳より木炭を取んたる殖産する。即ち  
火薬を製する。たぐの品あり。是より南方小。ド  
ルあり。此邦の都府あり。此辺の地は平坦にして  
且豊かあり。因て農事を勉むるもの最も多し。

瑪理蘭

マリランド

予はマリランドの一府ありバルチモールまで馬を馳せ先づ高き処より上りて府中の光景を伺ひ。高き公碑を指點せり。故に此府の一名を碑的府といふ。予は府人の生業の至要あるものを向んと欲し。因て牡蠣を打破す。所の大なる家を尋ぬ。是はチエスエビーキ湾より持ち運ぶものあり。夫より烟葉の売ちる庫を尋ぬ。又府の北よりては穀を粉にするた免の車仕掛を見り。是より小舟小打ち乗り。好き港を乗り廻し。舟の叢

泊まる所を看過せり。

科倫布亜

バルチモールより。合衆国の国都あるワシントンに進行し。此より数週日逗留し。諸般の重要事件を問んとせり。政事堂は世界中より華煥ある建物の一あり。此よりて国の法律を制せり。大統領の住所あり。甚だ美あり。建物もて。即ち謂と出るの白屋あり。そのは。此家あり。此所小石碑の廣大且美あるもの。造りかくりあるものあり。是は

万国通事

世二

合衆国の国父あり。華盛頓は供奉せんがたるあり。

（Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 万国道中記 and 華盛頓）

万国道中記上篇上終



